

## 2023年度

科目名称	日常生活活動学
授業コード	AD276
英語名称	Activities of Daily Living
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	西條 富美代 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	(B)自己実現能力を養成する。 理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動学(ADL)の概念と具体的内容を理学療法士として臨床経験のある教員の講義および実技を通して学習する。疾患に対するADLの評価方法について学習し、ADLの評価や指導ができるようにする。福祉用具の使用、生活環境を含めてADLを考えることを学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動の概念、評価方法、指導方法などについて、理学療法士として臨床経験のある教員が講義を行う。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる基本的な理学療法を実践できる知識と技術を身につけることを目標とする。 ・疾患別ADLの基礎的知識を習得し、ADL技術を身につける。 ・対象者の状態に合った指導方法、介助方法を身につける ・ADL関連の評価ができ、環境整備をふまえて患者・家族指導ができるようにする。 ・対象者の状態に合わせて評価、指導をすることを学び、臨床にでてから状況に合わせて実施するための考え方を学ぶ。
計画・内容	1) 支援機器・補装具・自助具 担当：西條(理学療法士) 2) 住環境整備 担当：西條(理学療法士) 3) 日常生活活動の介助とADL指導 福祉用具を用いて(1)起居動作 担当：西條(理学療法士) 4) 日常生活活動の介助とADL指導 福祉用具を用いて(2)移動動作 担当：西條(理学療法士) 5) 日常生活活動の介助とADL指導 福祉用具を用いて(3)セルフケア 担当：西條(理学療法士) 6) 疾患の評価・ADL指導 担当：西條(理学療法士) 7) 高齢者の評価・ADL指導 担当：西條(理学療法士) 8) 病院と在宅による評価とADL指導の違い 担当：西條(理学療法士)
授業の進め方	・講義・演習を中心に授業を進める。 ・演習やグループワークでの活動がありますが、積極的な参加意欲を持って臨んで下さい。
能動的な学びの実施	・アクティブラーニングを取り入れ、実習や演習を適宜行う。
授業時間外の学修	・授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと(各回1時間~2時間) ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。(合計20時間程度)
教科書・参考書	適宜、参考資料を提示
成績評価方法と基準	授業ごとの課題レポートの総合評価(100%)
課題等に対するフィードバック	提出課題については、授業内でフィードバックを行う。

## 2023年度

オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	講義内で実技を行うこともあるため、実技可能な服装で出席のこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・ Zoomによるオンライン授業と課題学習を組み合わせる。 Zoom内でも実技を行うことがあるため、できるだけ動ける環境を準備すること  成績評価方法 授業ごとの課題レポートの総合評価